

大町市地域農業再生協議会（長野県大町市）

組織の概要

- 大町市の経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するため、行政と農業団体等の連携体制、戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進、地域農業の振興を図るとともに、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成確保等に資することを目的とし、H16年に設立した協議会



生産概要

- 【作付面積】水稲：1417ha、小麦：42ha、大豆：45ha（R4年）
- 農業者の高齢化が進む中、園芸作物を主とした若手農業者の就農支援や、認定農業者、中核的担い手農家の育成を図っている。また、担い手としての位置づけを明確にし、農地の利用集積や営農集団、農業法人等の組織化などを関係機関とともに支援している。



取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- 多数の実需者との意見交換を定期的を実施し、作付けする品種を決定。現在、実需者の要望を踏まえ、すずほまれ（旧品種）からすずみのり（新品种）の切り替えに取り組んでいる。
- 大豆「すずみのり」生産向上研修会等を行うことで、生産技術の向上により、大豆の単収向上及び作付け面積の拡大に取り組み、収量を増加させている。収量の推移 収量 R4:48,960kg⇒R5:55,224kg



取組成果

<大豆生産の高位安定化を実現>

- 大豆の作付面積（すずみのり）
取組前 : R4 = 45.8ha
取組後 : R5 = 46.8ha
目標 : R7 = 50.0ha
目標達成率 : 23%（R5末）

大豆の作付面積・単収



- 【単収 (kg/10a)】
取組前 : R4 = 106.9
取組後 : R5 = 118.0
目標 : R7 = 120.0